

「大腿骨外弯変形が人工膝関節置換術の術後アライメントと臨床成績に与える影響」に関する情報公開

1. 研究の対象

1983年1月から2020年8月31日までの間、当院にて変形性膝関節症に対して人工膝関節置換術を施行した方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：大腿骨外弯変形が人工膝関節置換術の術後アライメントと臨床成績に与える影響を調べることです。

方法：診療記録より患者の基本データを抽出し、手術前・後の各種画像データや理学所見などの客観的データ、術後の症状や各種臨床スコアなどの患者立脚型スコアを用いて各手術の臨床成績に関しての解析を行います。

研究期間：実施承認日～2025年08月01日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- レントゲン、MRI、CT、エコー等
- 診療記録、（医師記録、手術記録、麻酔記録、リハビリ記録）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科整形外科 教授 今釜史郎

分担者：川村佑介、平岩秀樹

【連絡先】

名古屋大学大学院医学系研究科整形外科

052-744-1908（内線：5095）

Email: shinyai@med.nagoya-u.ac.jp